

「田園自然再生活動コンクール」受賞団体の活動の概要

< 農林水産大臣賞 > 総合的に優れた取組

株式会社 かぶしきがいしゃ 野田自然共生ファーム (千葉県 野田市)

- ・都市近郊で乱開発の懸念が生じていた耕作放棄地を含む90haの大規模な谷津田空間を、自然環境の豊かな場所として再生するため、耕作放棄地や周辺林地を取得して、農地や水路を復旧し保全管理するとともに、生きものと共生する米づくりに取り組んでいる。また、市民農園としても活用し、地元小学生や都市住民との交流を図っている。谷津田空間を再生させ、自然環境を保全する活動、地域住民や都市住民との連携交流など、活動内容の幅・質に関し、総合的に優れている点が評価された。



大規模な谷津田空間 (復旧した水田は市民農園としても活用)



豊かな自然環境の中、市民農園での田植え体験

< 農村振興局長賞 > 農業・農村振興、地域づくりに向けた取組

川津資源保全隊 (佐賀県 白石町)

- ・これまで枯れていた縫ノ池の湧水が、40年ぶりによみがえったのを契機として、地域の農業者が主体となって、湧水の保全や周辺水路の環境整備、地域住民と都市住民との交流を図るイベント開催等の活動を集落全域へ展開している。縫ノ池という地域の貴重な農業資源の保全・再生活動を通じて、地域コミュニティの形成や、地域の活性化など、農村の振興が図られている点が評価された。



湧水がよみがえった縫ノ池の景観 (晩秋の景色)



自然石で整備された護岸沿いの清掃作業

<自然環境局長賞> - 自然生態系の保全・再生に向けた取組 -

とくていひえいりかつどうほうじん さんやそう さと かい
特定非営利活動法人 山野草の里づくりの会 (奈良県 桜井市)

- ・山間部の豊かな自然に育まれた農村環境を守るため、農家と都市住民が連携し、耕作放棄され荒廃していた農地、山林、ため池などを広範囲に再生し、無農薬の野菜栽培等に取り組むとともに、きめ細やかな草刈り等の保全管理を行うことで、二次的自然環境を好む動植物の生息・生育空間が形成されている。農業や保全管理を通じて、貴重な自然生態系を再生する取組が評価された。



再生した農地に作付された赤い花のそば



農地沿い斜面の保全管理（草刈り）

<子どもと生きもの賞> - 子供たちの環境教育への取組 -

とくていひえいりかつどうほうじん みやしろ みず みどり
特定非営利活動法人 宮代 水と緑のネットワーク (埼玉県 宮代町)

- ・低湿地で葦の生える荒地を開発するために先人が考え出した地域特有の田んぼ「ほっつけ」の残る田園風景や自然環境を守るため、地域住民が主体となり、町内や東京の小学校と連携し、多くの子ども達に農作業体験を通じてお米の重要性を伝えるとともに、かかし祭りや、野草観察会、ホテル鑑賞会等のイベントも行っている。田園をフィールドとした環境教育の取組が評価された。



小学生による田植え体験



子ども達や家族による手作りのかかし

<パートナーシップ賞> - 多様な主体が連携した取組 -

田尻田んぼの生きもの調査プロジェクト（宮城県 大崎市）

- ・田んぼの生きものに配慮した農業を進める中で、田んぼの生物多様性を把握することが農家にも消費者にも重要との認識から、農家、農業関係団体、消費者関係団体、NPO、行政等が連携し、「田んぼの生きもの宣言」を行い、田んぼの生きもの調査を実施することによって、地域で生産された米袋には「生きものマーク」を添付している。農業の営みを通じた生物多様性の保全に向けて、多様な主体が連携している点が評価された。



生きもの調査の実施状況



田んぼの生きもの宣言と生きものマーク入りの米袋

<オーライ！ニッポン賞> - 都市と農村の共生・対流によって実施している取組 -

田光資源と環境を守る会（三重県 菟野町）

- ・農家、地域住民、都市住民が連携し、ため池に入り込んだブラックバスなど外来種の駆除、水槽等で飼育したヨシノボリ等在来魚の放流を行い、恵まれた自然環境の中にある地域の生態系の再生・保全に取り組むとともに、景観作物を利用したイベント開催によって都市住民との交流を深めている。生態系保全活動やイベントを通じて、県内外を問わず多くの都市住民との連携・交流を図っている点が評価された。



ため池の外来種駆除に都市住民も参加



イベント開催による都市住民との交流

平成 22 年度「田園自然再生活動コンクール」受賞団体位置図

